



出張報告

柴田晋吾

訪問先

1. Ngaoモデルフォレスト(コミュニティ主導・協働型の環境管理の実践)(タイ北部、ランパン近郊)

2. IMFN(International Model Forest Network)
のアジアネットワーク事務局<MNRE(Ministry of Natural Resources and Environment)

内>

3. BEDO(Biodiversity-Based Economy Development Office (Public Organization)

(Community-based PESの取り組みを開始)

日程

- 8月11日 移動(バンコク着)
- 8月12日 移動(バンコクーランパン)
- 8月13日 現地訪問
- 8月14日 同上
- 8月15日 移動(ランパンーバンコク)
- 8月16日 書類整理
- 8月17日 打ち合わせ、帰国

○IMFN(世界モデルフォレストネットワーク)とは
1992年の世界地球サミットの際にカナダが提唱した持続可能な地域づくりの実践活動。住民、ボランティア、NPO、NGO、企業、行政などステークホルダーの協働で幅広い取り組みを実施

○活動内容の例

- ・ 持続可能な森林管理技術の向上
- ・ 野生鳥獣の行動調査
- ・ 溪流の水量・水質調査
- ・ 生息魚類の調査
- ・ 統合的、クロスセクトラルな天然資源管理
- ・ 地域の経済発展
- ・ 生態的な持続

○国際・地域*協力の例 (*region)

- ・カナダーコスタリカ:エコツーリズム開発
- ・中国ーフィリピンーインド:竹栽培と付加価値
- ・南米諸国: REDD+

○なぜモデルフォレスト ト が開始されたか？

1990年代はカナダの森林セクターの対立と紛争の時代
(企業・環境保護者・先住民等)



ステークホルダーが協働して問題解決を図らねばならないという認識が高まった [Besseau.2014]



クラクアットサウンド原生林伐採
反対のデモ [Besseau. 2014]

OMFの原則

- 景観アプローチと協働ガバナンスによる問題解決のアプローチ
- 豊かな森林地域における（林業の枠内に留まらない）持続可能な地域づくりの実践活動
- キーワード：景観アプローチ、協働ガバナンス、問題解決

1. Partnership(パートナーシップ・共通なビジョン)

多様な価値観と関心を持つステークホルダーが、持続可能な管理のための共通なビジョンを志向

2. Working Landscape(景観レベルでの実践)

多様な生態系・資源利用・価値を有する地理的範囲についての試行。
その区域の生態的十全性の保全を目指す。

3. Commitment to Sustainability(持続可能のコミット)

持続可能なコミュニティの発展と費用便益の平等な分配。

OMFの原則(続き)

4. Governance (ガバナンス・協働決定の原則)

ビジョンと目標を実現するための合意形成プロセス。多様な価値と関心を尊重し、信頼、透明性、協働決定の原則によるガバナンス

5. Program of Activities (活動プログラム)

ステークホルダーの必要性・関心などを反映した活動計画を含む戦略レベルの計画は広域の計画を配慮。実行とモニタリング体制。天然資源の持続可能な管理のための新しく革新的な考え方、プロセス、アプローチ、技術についての研究を推進。

6. Knowledge-sharing, Capacity Building and Networking (知見の共有・訓練・ネットワーキング)

持続可能な資源管理についての訓練・コミュニケーション・アウトリーチ活動。他のモデルフォレストとの情報交換。国際ネットワークの強化のための活動。

[出典:IMFN. Website]

○世界のモデルフォレスト[Besseau.2014]



- ・創設1995年
- ・世界で60箇所、
1億ha、30か国、
6つの地域ネットワーク(カナダ、寒帯、アジア、アフリカ、地中海、イベロアメリカ)
(2014年8月現在)

・2012年からカナダ連邦からの資金提供は停止

○日本における唯一のモデルフォレスト: 京都MF 活動の背景

林業生産活動の低迷/手入れ不足の不健全な人工林/

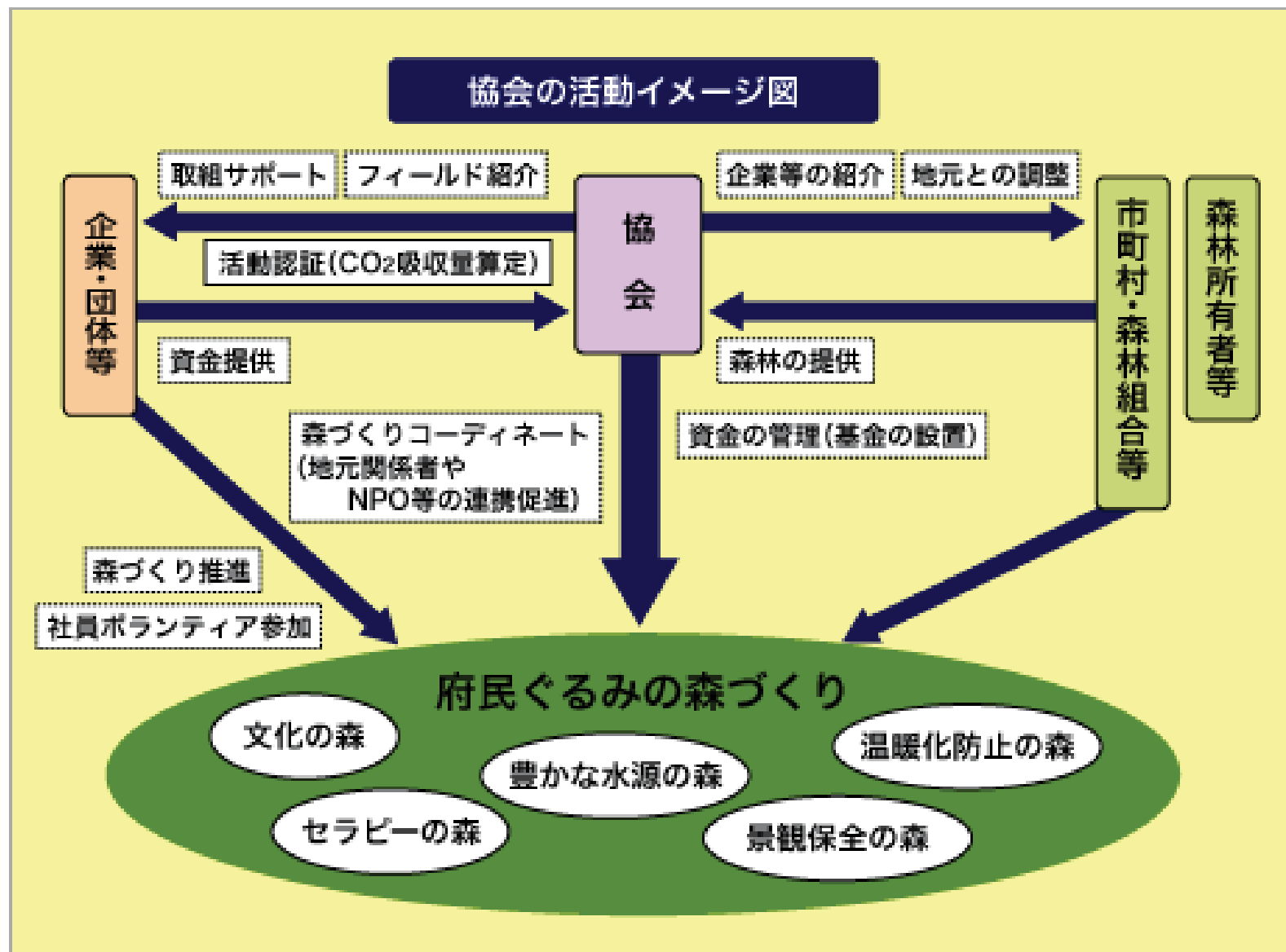
荒れ放題の里山→府民みんなで京都の森を守る

(問題解決を図るための、多様なステークホルダーを巻き込んだアプローチ)

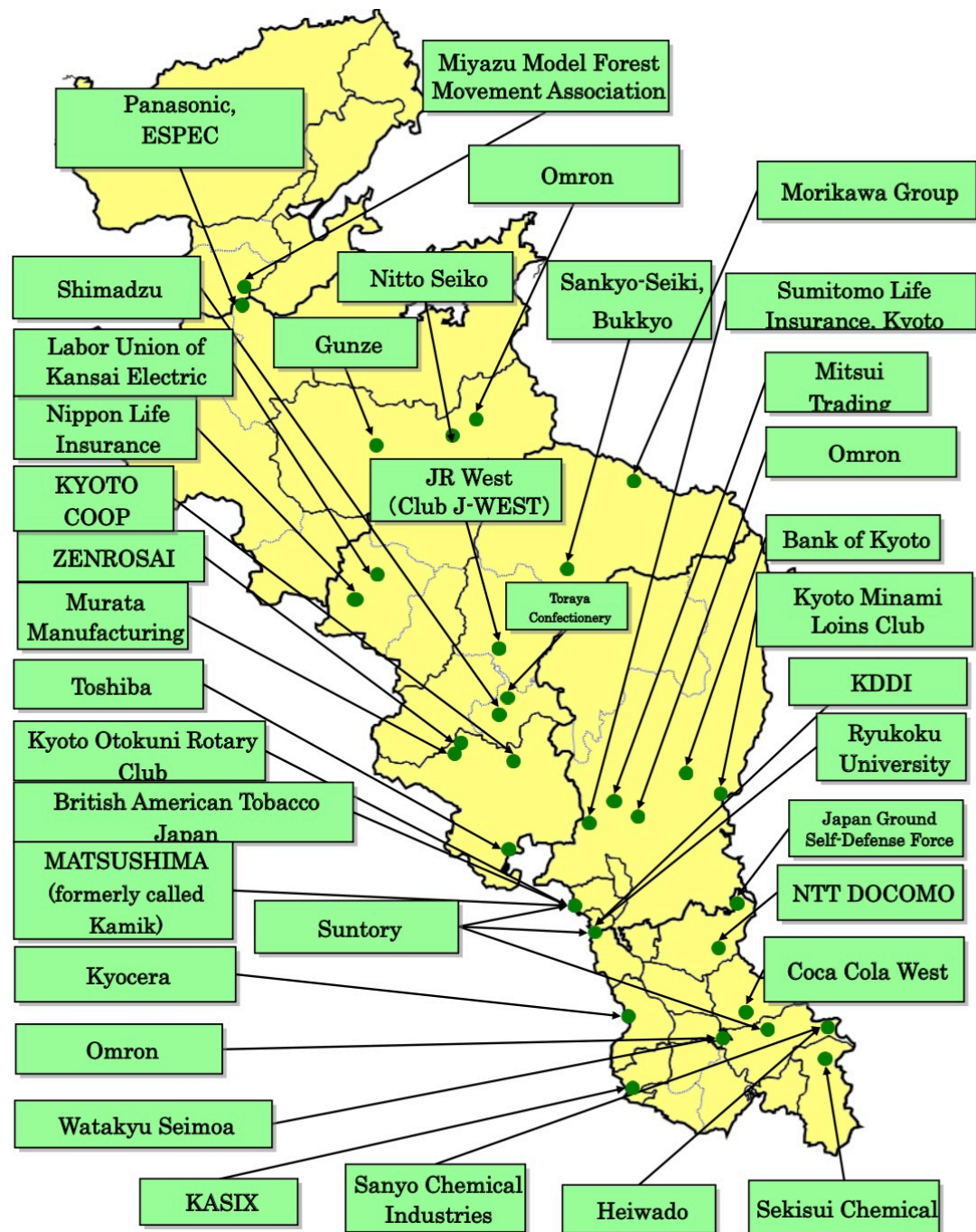
「京都府の森林は、府域の75%(34万ha)。多様な役割を担う府民共有の貴重な財産。しかしながら、社会経済の変化の中で、放置され、荒れた森林が増えており、林業関係者だけでは森林を守ることが困難。

『京都モデルフォレスト運動』は、森の恵みを受けている府民みんなで京都の森を守り育む運動。2005年に「豊かな緑を守る条例」を制定。2006年11月には、この運動の推進主体となる『社団法人京都モデルフォレスト協会』を設立」。平成2008年3月にIMFNに参加

[京都府ウェブサイト]



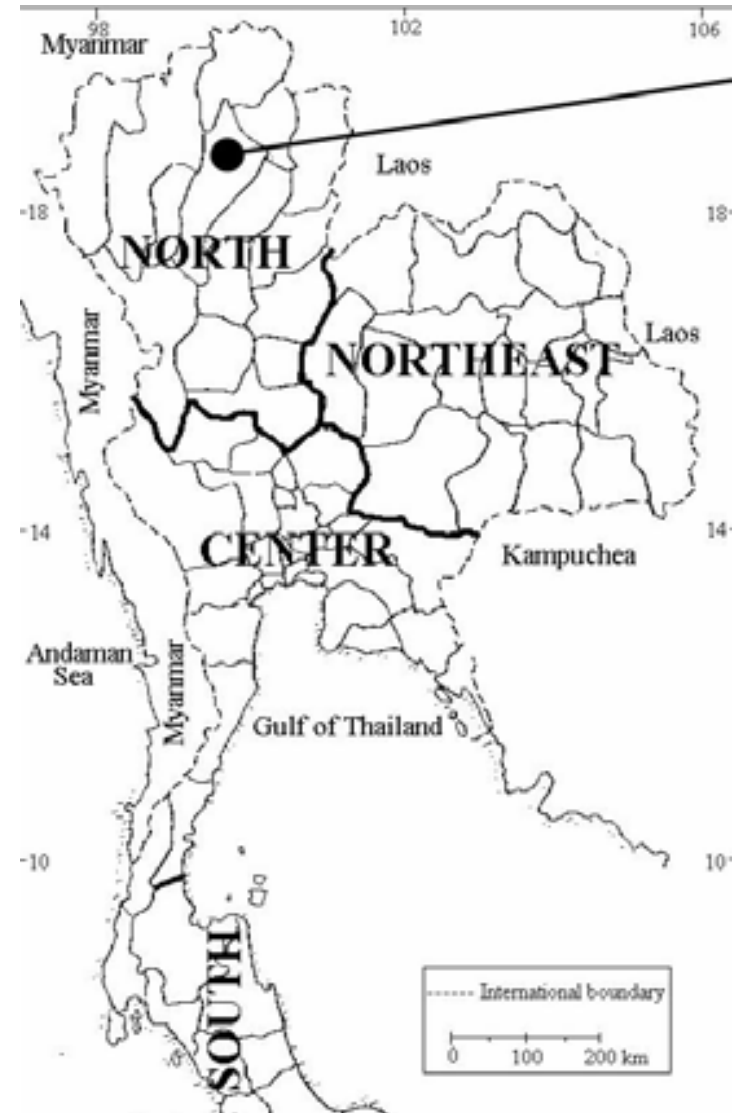
○企業等の 社会貢献活動(CSR)の受 け皿としての 「企業の森」



出典: 京都府パンフレット(2015)

○Ngaoモデルフォレストの位置図

- バンコクから北へ200km
- 175千HA
- 設立: 2000年



- Forest and resource profile [IMFN. Website]

- **森林資源の状況**

- 森林率約65%。広葉樹林とチーク植林地。生物多様性高い。ライムストーンの洞窟が多くある。溪谷沿いに肥沃な農地がある。国立公園、試験林がある。モデルフォレスト内に約60の集落があり、人口は50,000人。土地の80%は国有、20%が民有。

- Approximately 65% forested. Deciduous forest and teak plantations. High biodiversity of plants, birds and mammals. The area has limestone caves and ancient rock face paintings. Mountainous area with large areas of rich agricultural land in river valleys. Includes three main rivers which drain into the Mae Yom, an existing research forest, and national park. Approximately 60 villages are located within the Model Forest area, with a total population of 50 000. Land is 80% state owned, 20% privately owned.

- Economic profile

- **経済的な状況**

- 家計の収入は主として農業。非木材森林産物が生活に重要な役割。森林伐採禁止令が出てから、農業、ツーリズム、非木材森林産物や他のセクターが重要に。

- Family income is derived principally from agriculture, where non-timber forest products (NFTPs) play an important role in the subsistence economy. With a logging ban in effect, agriculture, tourism, NFTPs, and other sectors play dominant role. The area has limestone caves, ancient rock face paintings and natural and plantation teak forests.

- Why a Model Forest? [IMFN. Website]

• どうしてモデルフォレストが開始されたか？

保護地域への侵入、違法伐採、非木材森林産品の過剰な利用、森林管理者と地域住民の紛争。

- Encroachment on protected land, illegal logging, over-extraction of NTFPs, conflicts between forest managers and local villagers.

- Strategic goals

戦略目標

モデルフォレストアプローチによって、Ngao MF資源が保全管理され、持続可能な利用がなされる。

- ・全てのステークホルダーの参画による強力なパートナーシップグループの構築
- ・森林土地資源の持続可能な利用を通じた地域住民の生活向上
- ・協働管理による生物多様性と水源地域の保全管理
- ・新たな技術に関係者が使えるような研究と実行とのリンク

Ngao Model Forest resources are protected, managed and used on a sustainable basis through the Model Forest approach:

- Building a strong partnership group to ensure the involvement of all stakeholders
- Improving the livelihood of local populations through sustainable use of forest land and resources
- Conservation and maintenance of biodiversity and watershed areas through collaborative management
- Links between research and operation so that new technologies can be made available for stakeholders and networks

- **Accomplishments to date [IMFN. Website]**
- Established and legally registered the Ngao Model Forest Association in October 2002 (more than 24 partners or partner groups)
- Increased awareness of the importance of sustainable forest management among local people and other government agencies
- Model Forest areas are being used as demonstration sites for collaborative management, research and best forest management practices
- Promoted the improvement of livelihoods through bamboo and medicinal plants cultivation, edible insect farming, and "lac" production
- Initiated development of criteria and indicators for sustainable forest management
- Development of field manual and guidelines for local and national stakeholders on bamboo and charcoal processing, economic diversification of the Rain Tree, utilization and cultivation of paper mulberry and edible insect rearing

成果

- ・24以上の関係者によりNgao MF協会を設立(2002年)
- ・地域住民や地方政府関係者の持続可能な森林管理についての認識の向上
- ・MF地域が協働管理、研究、最善施業のデモサイトとして活用
- ・竹、薬用植物の栽培、食用昆虫の養殖、ラックの生産による生活改善
- ・持続可能な森林管理についての基準・指標の開発の開始
- ・竹・炭の生産、食用昆虫などについてフィールドマニュアルとガイドラインの開発

○主な訪問先

- ・Community-based Natural Resource Management (地域住民による協働型の天然資源管理)の現場

水源となる天然林や竹林

荒廃防止のための住民によるチェックダムの建設

竹加工工場

キノコ採取林(キノコ採取が森林保全のインセンティブとなっている)

- ・アジアネットワークの事務局(2016年設立、バンコク)

チークの植林地と残存する天然木





水源となる天然林(聖なる森)と湧水ポイント



天然竹林と水源域の協働管理



上流部にある水田と水路



竹の加工工場



水源となる上流域の天然林の協働管理



荒廃防止のための住民によるチェックダムの建設



共同管理が行われているキノコ採取林



採取されるキノコ



天然キノコの料理の例



昆虫などの非木材産品の持続的利用



カエルの養殖



モデルフォレストで見かけた昆虫



OBEDO(Biodiversity-Based Economy Development Office)



BEDOによるPESの取り組み

- エコツーリズムPES(クラビ県のマングローブ林)(リゾートホテル・エコツーリズムのグループとコミュニティグループ)(2012年から)
- 水源保全PES(チェンマイ県)(県水管理局と地域住民グループ)(2012年から)
- CSR PES(チュムポン県ほかのマングローブ林)(食品会社と地域住民グループ)(2013年から)
- エコツーリズムPES(クラビ県)(旅行会社と地域住民グループ)(2015年から)

Thank You!!

